

ID No.	3029
研究課題名	エボラウイルス・ヌクレオキャプシドの極低温電子顕微鏡解析
研究代表者	杉田 征彦 (大阪大学・特任研究員)
研究組織 受入教員 研究分担者	河岡 義裕 (東京大学医科学研究所・教授)
研究報告 クライオ電子顕微鏡解析とコンピュータークラスターを用いた単粒子構造解析の結果、エボラウイルス・ヌクレオ蛋白質（NP）-RNA 複合体の三次元構造を近原子分解能で決定することに成功した。その結果から、ヌクレオキャプシドのアセンブリ機構、RNA 取込み機構および、NP の多量体化機構が構造生物学的に明らかになった。さらに、NP-RNA 複合体の螺旋構造がヌクレオキャプシドのみならずエボラウイルス全体の構造（長さ）を規定することも明らかになった。現在、これらの研究成果を学術論文として纏め、投稿する準備を進めている。	